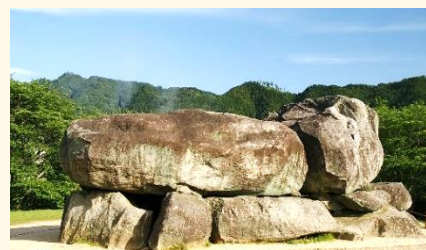


## 令和 6 年度 大学塾 第 3 ステージ 開催講座 案内

### 古代の歴史・伝承・史跡を訪ねて 奈良を歩く

奈良県の中で、歴史スポットを多く持つ「山の辺の道」を桜井から石上神宮まで訪ね、さらに「橿原・飛鳥周辺の道」を追って、古事記や日本書記にある神話時代から古墳時代・飛鳥時代に至る歴史・伝承・史跡などを概観します。

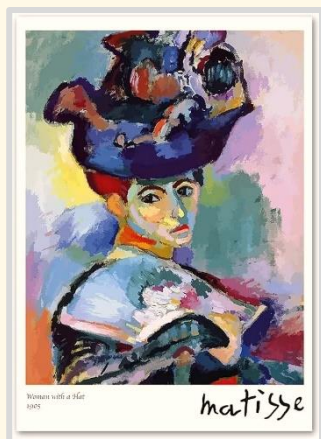


石舞台古墳（明日香村）

毎回 日曜日 午後 2 時～4 時

- 講 師：大沢 正明 氏 江戸文化歴史検定一級 奈良まほろばソムリエ検定 ソムリエ級  
日 時：10 月 6・20・27 日（日曜日）全 3 回 午後 2 時～4 時  
会 場：足立区生涯学習センター（学びピア 21 内）5 階 研修室 1  
講義内容：第 1 回 山の辺の道 ①  
～箸墓古墳は卑弥呼の墓か？～  
第 2 回 山の辺の道 ②  
～崇神天皇は大和朝廷の創始者か？～  
第 3 回 橿原・飛鳥周辺の道  
～甘櫓丘から飛鳥時代を見る～

### 20 世紀の絵画を楽しむ！ マティス・ピカソ・ローランサン ほか



アンリ・マティス「帽子の女」  
サンフランシスコ現代美術館

20 世紀に入って、それまでの印象派とポスト印象派の絵画とはまったく違う表現が出現します。そのきっかけを作ったのはマティスとピカソ。マティスは原色を多用して色彩を解放するスタイルを生み出します。ピカソは自然を基本的形態に分析する手法を案出します。

マティスのフォーヴィスムとピカソのキュビズムが 20 世紀絵画の幕開けになりました。女性画家ローランサンはマティスやピカソの洗礼を受けながら独自の絵画世界を展開します。

毎回 土曜日 午後 2 時～4 時

- 講 師：島田 紀夫 氏 前ブリヂストン美術館館長  
日 時：11 月 9・23・30 日（土曜日）全 3 回 午後 2 時～4 時  
会 場：足立区生涯学習センター（学びピア 21 内）4 階 講堂  
講義内容：第 1 回 マティスとフォーヴィスム  
第 2 回 ピカソとキュビズム  
第 3 回 ローランサンと前衛画家たちの世界

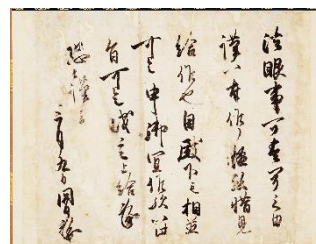
## 中世古文書講座 ～公家古文書の世界～



中世古文書講座 公家文書の世界は7月7日・21日・28日の日曜日に開催されました。講師は高梨真行氏(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究員・足立区在住)応募者は36名、受講者は33名、第1回31名、第2回30名、第3回31名で延べ92名でした。今回の古文書講座は藤原家の摂関家の確立と家政機関と公家から武家への移行を文書で外観しました。

### 第1回・・・「摂関家」当主の文書～料紙と書札札」

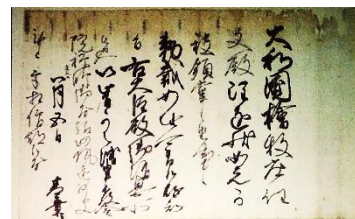
- ・藤原冬嗣は嵯峨天皇の信任を受け天皇の外戚となり以後北家嫡流となり摂政・関白に就くことができる公家が北家御堂流に固定されると他の公家との家格の差は絶対的となる。兼家による権力確立し、兼家の子道長・頼通父子により摂関の固定化された。摂関政治とは「摂政」：成人前の天皇に代わって政務を代行（政務を摂（と）るの意）、「関白」：成人後の天皇の政務を補佐する（関（あずか）り白（もう）す）の意が政治を担当した。その後摂関家の分立（兄弟対立、院政との相克）が起こり、五摂家が登場する（近衛家（摂関家の嫡流）、九条家、一条、二条、鷹司）の五家に固定された。
- ・古文書として関白藤原忠通書状案、藤原師長書状が紹介された。



関白 藤原忠通書状  
(東京国立博物館蔵)

### 第2回・・・「家政機関の文書」

- ・家政とは家、家系であり、我が国において公家や武家における家領・所領支配や商業などすべてが家政に属する。
- ・政所下文：家司が連署して家政機関における当主の決定を通達する文書主として家領経営において出される公文書
- ・御教書 当主意向を家司が承って出す奉書形式の公文書。あらゆる用途にだされる。
- ・古文書として近衛右大臣家（道嗣）御教書と九条権大納言家（道教）御教書と二条右大臣家（良基）御教書が紹介された。



二条右大臣家御教書  
(教王護国寺蔵)

### 第3回・・・「平家の文書～公家から武家へ」



- ・武家平氏の台頭。平忠盛は鳥羽上皇勅漢音堂である得長寿院造営の落慶供養に際し千体観音を寄進した功績により内昇殿を許可され伊勢平氏で初めての殿上人となり軍人貴族としての平氏が誕生。
- ・保元の乱 鳥羽法皇と崇徳上皇の対立に摂関家の当主をめぐる忠通・頼長の対立が連動し、源氏、平氏ともに一族内が二派に分裂して対立。鳥羽法皇の死後、軍事衝突が発生し後白河・藤原忠通が勝利する。
- ・平治の乱 後白河上皇の院政と二条天皇の親政が対立。藤原信頼のクーデターに源義朝が協力したが、平清盛によりクーデターを早期に鎮圧。院政の軍事を平氏が担うことに。
- ・古文書として平清盛請文と平重盛請文、書状が紹介された。

### 《受講者のご意見》

- ・文書から歴史の背景など立体的に浮かび上がって興味深い。
- ・勉強の機会が少ない平安時代で勉強になりました。
- ・お話の進め方も上手でテキストも分かりやすい。
- ・とても充実した内容で興味深く拝聴しました。公家文書については知識がなかったのですが、先生のお話で時代背景が見えてきました。
- ・戦国時代～江戸時代の古文書講座が多いなか興味のある平安～鎌倉時代の古文書に出会えて良かったです。平安時代の美しい料紙に大変興味があり料紙の講義はうれしかった。
- ・事例の文書の説明に入る前の背景、歴史の解説がとても役に立ちます。

＜安田 善英＞

# 令和6年7月 運営委員会 報告・連絡

日 時 : 令和6年7月1日(月) 15:00~

場 所 : 生涯学習センター: 5階 研修室 4

## 代表挨拶

皆さま、ご苦勞様です、この度の総会において令和6年度の代表理事に就任いたしました金子です。  
現在、当会を取り巻く情勢は人手不足などによる運営面で非常に深刻な状況下にあります。  
新組織では限られた少人数でのスタートとなりましたが、お互いのスキルを活かし協力し合い運営面でも工夫を凝らして、効率の良い簡素化を実現させて頂けます様よろしくお願ひいたします。

## 議 事

### (1) 情報交換

- ・6/20月例会で令和6年度足立区の重点施策、足立区生涯学習支援課 太田課長、渡邊係長 生涯学習センターの令和6年度重点事業 生涯学習センター 平野所長より講演頂いた(会員14名出席)、終了後足立区生涯学習支援課と懇親会開催し懇親を深めた(参加者11名)
- ・府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」20周年むかえ、20周年記念冊子受領  
代表は奥野英城氏から田頭隆徳氏へ交代。2004年4月設立、会員49名
- ・学習情報グループ:「生涯学習だより」発行(4回/年)、生涯学習フェスティバル開催

### (2) 令和6年度の新役員体制の報告、法務局へ登記

- ・7/1(月):理事会(代表理事変更、事務所移転の決定)
- ・東京都へ資料提出:7/上旬 役員変更、就任承諾書、住民票  
東京法務局へ登記:7/上旬 代表理事、事務所移転申請(総会、理事会議事録添付)  
理事会議事録に実印押印、印鑑証明書添付

### (3) 月例会開催について

- ・6月20日(木)講演会;足立区生涯学習支援課 太田課長、生涯学習センター 平野所長
- ・7月16日(火)新体制 今後の取り組みと課題
- ・8月 休会

### (4) あだち区民大学塾: 講座企画会議:7/1(月)、8/1(木)、検討会議:7/16(火)、8月休会

- ・6月 近藤直子音楽講座 6/14,21(金)講師 近藤直子氏 受講者53名、延べ94名
- ・7月 中世古文書講座 7/7,21,28(日)講師 高梨真行氏 応募者35名
- ・8月 荒川放水路通水100周年 8/31(土)、9/7(土)、18(水)、 応募締切 8/16
- ・10月 古代の歴史・伝承・史跡を訪ねて 奈良を歩く 講師 大沢正明氏 10/6、20、27(日)

### (5) プリンタ購入(キャノン製 現在と同型番) 6/20より使用開始

### (6) 各部局からの報告および提案

- ①学習支援部:9月新規講座なしのため交換便チラシ封入作業なし、10月分チラシは8/20封入
- ②ボランティア活動推進部:部会 7/10(水)  
6年度サークルフェア(10/12、13開催)へ参加で回答、担当:鈴木  
NPO フェスティバル(11/16、17 エルソフィア他):参加申込済
- ③事務局:7/2ニュース発送、部会7/12
- ④広報グループ:楽学ニュース 308発行、ホームページ7/1発信、メルマガ206号発行  
ホームページTOP頁の大学塾応募案内の往復はがきのみ表示は削除する

### (7) その他

社会教育 7月号



足立区堀之内公園「大賀ハス」

次回運営委員会 8月1日(月) 15:00から(研3)



## 生涯学習センター 講座情報

### ◎講座名：無形の民俗文化財の現在 危機の時代における様々な選択

あだち 100 年大学講座

日 時：7/21 (日) 午前 10 時 30 分～正午

対 象：16 歳以上の方

定 員：40 人 (事前申込先着順)

受講料：800 円

会 場：5 階 研修室 1

講 師：俵木 悟 氏 (成城大学文芸学部 教授)

内 容：近年、地域の祭りや芸能など無形の民俗文化財は、地方の過疎化や高齢化に加え、災害やコロナ禍の自粛などに直面し、継承が難しくなっているものが少なくありません。地域社会で伝えてきた文化のあり方を理解し、私たちはどう向き合うのかを、改めて考えてみましょう。

### ◎講座名：なぜランは希少になったのか？ 生態の謎に迫る

あだち 100 年大学講座

日 時：9/29 (日) 午後 2 時～4 時

対 象：16 歳以上の方

定 員：30 人 (対面)、10 人 (オンライン)

※いずれも事前申込先着順

受講料：800 円

会 場：5 階 研修室 1 (対面)

講 師：遊川 知久 氏 (国立科学博物館・筑波実験植物園)

内 容：多種多様なランが数多く繁栄する一方で、絶滅に瀕するランもあります。なぜこのようなことが起こっているのか。ランの驚くべき多様性と、地球全体で起こっている環境問題について、専門家のお話を聞きます。

### ◎講座名：学びピアコンサート 秋風にのせてボサノヴァ

あだち 100 年大学講座

日 時：9/22 (日) 午後 2 時～3 時 30 分

対 象：16 歳以上の方

定 員：190 人 (事前申込先着順)

受講料：1,000 円 (招待券でお申込みの方はその旨をお知らせください)

会 場：4 階 講堂

出 演：Betty 大竹 (ヴォーカル・ギター)、  
鈴木 康江 (フルート)

クラウド石川 (パーカッション)

内 容：「イパネマの娘」「黒いオルフェ」「マッシュケナダ」などボサノヴァの名曲をお届けします。

申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口  
インターネット [近所 de まなびナビ] で検索  
イベント・講座情報→講座予約システム

#### 月例会のご案内

令和 6 年 8 月「月例会」の ご案内

8 月の月例会は酷暑のため休会とします。

令和 6 年 9 月「月例会」の ご案内

9 月 17 日(火)午後 3 時～5 時

「あだちサークルフェア 出展に向けて」

(ボランティア活動推進部)

## 楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

### ◎ 運営委員会

8 月 1 日(木) 午後 3 時～4 時 研修室 4

9 月 2 日(月) 午後 3 時～4 時 研修室 4

### ◎ 月例会

8 月 休会

9 月 17 日(火) 午後 3 時～5 時 研修室 4

### ◎ 学習支援部

8 月 休会

9 月 17 日(火) 午後 1 時～2 時 研修室 4

### ◎ ボランティア活動推進部

8 月 休会

9 月 17 日(火) 午後 2 時～4 時 研修室 4

### ◎ 事務局

8 月 2 日(金) 13 時半～4 時 ニュース放送

8 月 20 日(水) 13 時半～4 時 ワークルーム

9 月 11 日(水) 13 時半～4 時 ワークルーム

### ◎ 広報グループ

メール会議

### ◎ 大学塾講座検討会議

8 月 休会

9 月 17 日(火) 午後 2 時～3 時 研修室 4

### ◎ 大学塾講座企画会議

8 月 1 日(木) 午後 2 時～3 時 研修室 4

9 月 2 日(月) 午後 2 時～3 時 研修室 4

### ◎ 生涯学習センター 休館日

8 月 19 日(月)

9 月 9 日(月)

### ★お問い合わせ & ご意見

#### ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444

E-Mail: [tefukuda2002@yahoo.co.jp](mailto:tefukuda2002@yahoo.co.jp)

### 編集後記

#### 脱炭素化社会に向けて 持続可能な経済社会と地域の脱炭素化に向けて

脱炭素が経済競争と結びつく時代、地域脱炭素は、脱炭素を成長の機会と捉える時代の地方の成長戦略になり得るものであり、地域資源を最大限活用することにより、地域活性化、防災、地域の暮らしやすさの向上など地域課題の解決に貢献するものです。また、暮らしの脱炭素は一人一人が主体となって今ある技術で取り組めることや、寿命の長い地域の公共インフラや構造物、エネルギー供給インフラは 脱炭素型へと移行するのに時間がかかり、今から進める必要があることも踏まえ、地域脱炭素は、国全体の脱炭素への移行を足元から先導します。このため、2020 年 12 月から 2021 年 6 月にかけて開催した国・地方脱炭素実現会議では、地域が主役となる、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する地域脱炭素の実現を目指し、特に 2030 年までに集中して行う取組・施策を中心に、工程と具体策を示す「地域脱炭素ロードマップ」(2021 年 6 月 国・地方脱炭素実現会議決定)を策定しました。本ロードマップに基づき、地域脱炭素が、意欲と実現可能性が高いところからその他の地域に広がっていく「実行の脱炭素ドミノ」を起こすべく、2025 年度までの 5 年間で集中期間として、あらゆる分野において、関係省庁が連携して、脱炭素を前提とした施策を実現に向けて総動員しています。(金子 勝治)